

我孫子市環境レンジャー通信  
No74  
(平成31年4月発行)

# たまっけ

(発行)  
我孫子市環境レンジャー  
(連絡先)  
我孫子市手賀沼課  
04-7185-1484(直通)

「たまっけ」とは昭和35（1960）年頃まで手賀沼でもたくさん棲んでいたカラスガイのことです。今はほとんど見られません。環境レンジャーは、我孫子の自然環境を市民に伝え、市民と一しょに考え、守り育ててゆくために結成されました。みなさん、一しょに美しい我孫子を守り育てましょう。

## プラスチックごみによる海洋汚染の現状

### 回収が困難！そして生態系が崩れる危険にさらされている

(環境レンジャー 荻野 茂)

『スターバックス』、『マクドナルド』、『ガスト』などの大手飲食店を中心にプラスチック製ストローを廃止する動きが広がっており、環境問題に配慮した動きとして世界的にも注目されていますが、なぜプラスチック製ストローを廃止する必要があるのでしょうか？

### 動物たちへ悪影響を及ぼす！

世の中に決定的なストロー廃止を訴えたのは、ストローを鼻に詰まらせたウミガメの動画です。

絶滅危惧種でもあるウミガメの鼻に詰まってしまった10cmほどのストロー片を取り出すのに8分近くもかかり、その間苦しむウミガメの姿は涙なくしては見られないほどの映像でした。



### あちこちへ拡がる被害！

また、昨年11月には、重さ8kgにもなるレジ袋を飲み込んで餓死したマッコウクジラがインドネシアのスラウェシ島で見つかりウミガメ同様大きな話題になりました。

マッコウクジラの体内からは、  
115個のカップ、25枚のビニール袋、  
複数のペットボトル、2個のサンダル、  
1000本を超えるひもが入った袋が  
…見つかった。

(資料:日本経済新聞電子 2018/11/18)



### ここまでプラスチック製ストローを廃止する動きが広がっているのはなぜか？

この動きの大きな理由はプラスチックごみによる海洋汚染が進んでいることにあります。プラスチックはストローに限らず、レジ袋や梱包容器などさまざまな製品に利用されています。これらはリサイクルしているものもありますが、ストローのような小さなものはリサイクルしづらく、使い捨てのごみとなってしまう。

そしてごみとなったプラスチックは、年間800万トンほど海に流出しています。海に流出したプラスチックは塩分や紫外線等により細かく分解され、最終的に0.5mm以下、重さ0.1mg以下の小さな欠片（マイクロプラスチック）となり、海に残り続けますが、あまりに小さいので回収することが難しい上に、魚たちがエサと間違えて食べてしまうことも多く、海を汚してしまうだけでなく、魚や海鳥にも悪影響を及ぼしている状況なのです。

## 私たちも知らないところで捨てているマイクロプラスチック？！

マイクロプラスチックは、プラスチックごみに由来するほか、身近に歯磨き粉や洗顔料で研磨剤やスクラブ剤（非常に小さな砂粒のようなもの）として使われている「マイクロビーズ」と呼ばれる製品もマイクロプラスチックです。つまり、私たちがそのような製品を利用するたびに、「マイクロプラスチック」を排水口から海へ流していることとなります。私たちは知らず知らずのうちに、日常生活の中で「マイクロプラスチック」を排出しているようなのです。

## 大きな問題を抱える小さな小さな物質！

大きな問題にマイクロプラスチックは、自然界で分解されない点があります。マイクロプラスチックごみは小さくて細かく軽いため、海流に乗って世界中の海へ広がり漂うこととなります。あまりにも微小であるがゆえ回収は困難であり、魚や海鳥が餌と間違えて食べてしまう事例が増えています。餌と間違えて食べた魚や海鳥は、内臓や消化管が傷つき死に至りますが、その連鎖が続けば、やがては生態系が崩れることになりかねません。

しかも、このマイクロプラスチックに化学物質（環境汚染物質）が付着している恐れがあり、食物連鎖によってさらに濃縮される可能性が指摘されているのです。魚や貝を通じて人体に有害な汚染物質が蓄積すると危ぶまれているわけですが、現段階では汚染物質の摂取量が少ないため、顕著な影響はみられていません。ただ今後、摂取量が増えた場合に内分泌系や免疫系に異常をきたさないともいえず、未解明な部分が多いだけに注視していきたいところです。

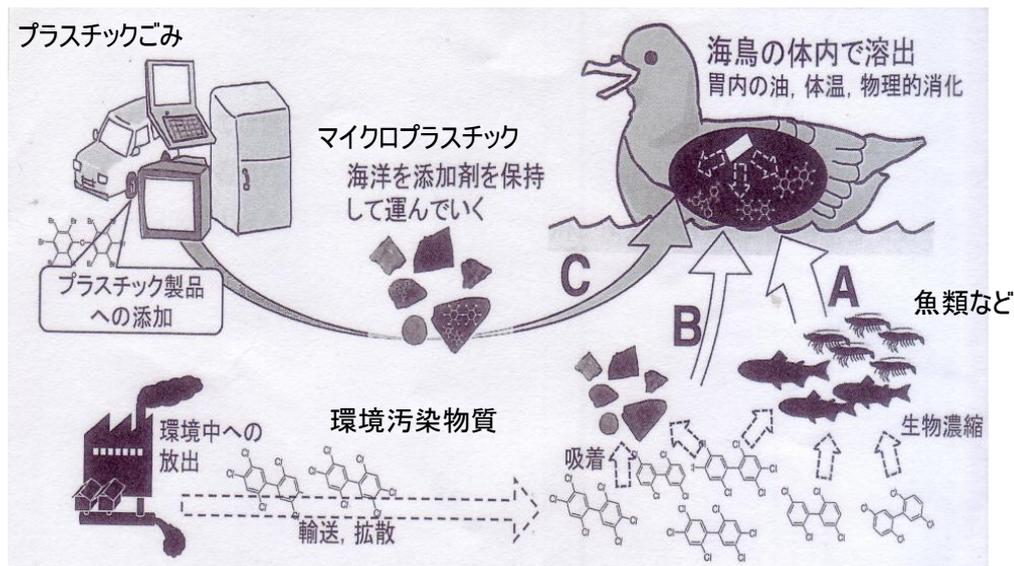


図1 海鳥たちのマイクロプラスチックの摂取経路  
（科学 Jan 2019 Vol89 No1 より参照）

海鳥や魚類たちは、餌としてマイクロプラスチック（環境汚染物質が付着したものを含む。）を誤食することで体内に蓄積され、食物連鎖により鯨類へと拡散していくこととなります。

プラスチックによる消化器官の閉塞は、海洋哺乳類（鯨類）や鳥類において知られています。タイやインドネシア、また神奈川県で打ち揚げられた鯨がやせ細り餓死したことでも推し量られます。

また、マイクロプラスチックには環境汚染物質が付着したものもあり、それらの汚染物質が摂取した海鳥の体内で溶出していることは、フルマカモメ、アホウドリ等の消化器官からみつかったプラスチックを分析したところ内分泌攪乱作用などの毒性影響が報告されていることから明らかです。まさに生態系が崩れることが危惧されます。

## マイクロプラスチック☹️

それは回収が困難で、そして生態系を脅かす危険性をもった物質です。

**環境レンジャー活動報告（ネイチャーイン）**

**手賀沼船上冬鳥観察会**

（環境レンジャー 吉川 和俊）

1/27(日)我孫子野鳥を守る会との共催で「手賀沼船上冬鳥観察会」を開催しました。好天に恵まれ、上々の探鳥日和となりました。参加者は募集定員の33名、当日キャンセル待ちが出るほどの盛況でした。午前10時に手賀沼公園前の棧橋を出発し、我孫子野鳥を守る会の桑森さんの名解説を聞きながら、1時間15分ほどかけて冬鳥を中心に探鳥しました。

上沼の開水面では、オカヨシガモ、ホシハジロ、カンムリカイツブリなどの遊泳する姿が見られました。若松の植生帯の杭にはコガモがずらり整列しており、その愛らしい姿に参加者から歓声が上がりました。その東側では、杭に静止しているオオタカや岸辺を飛翔するカワセミの姿が見られました。手賀大橋をくぐって下沼に入り、冬枯れのハス群落を観察、更に東に進むとヒドリガモやマガモの大群が一斉に飛翔しダイナミックに着水する様子が見られました。杭にはミサゴが止まり、クロハラアジサシとセグロカモメが上空を飛び去って行きました。岸辺には、静かに佇むアオサギ、ダイサギ、コサギの姿も見られました。棧橋に近づいてからは、恒例の「鳥合わせ」を行い観察した鳥は23種でした。



探鳥日和の一日でした(^\_^)

**環境レンジャー活動報告（環境学習）**

**紙飛行機工作と飛行大会**

（環境レンジャー 櫻井 潤）

2/17(日)今年もアビスタのホールで「紙飛行機工作と飛行大会」を開催しました。参加者は24名、いつものように親子連れが中心になりますが、今回は熟年の方が4名も来られ、孫に教えるためとか、折り紙感覚でと・・・嬉しい動機からの参加です。挨拶と安全注意の後、いよいよ環境レンジャーの案内で6種類の工作に挑戦。環境に配慮の広告紙を利用してふわふわ飛行機、滞空飛行機など4種類、ケント紙で作る曲技飛行機とホチキス・ペクの2種類です。折り方説明の手順毎に、機体見本をボードに貼り分かり易い工夫もしました。早速、熱心な子ども達は「どこを折るの」「どこを切ればいいの」など、矢継ぎ早に質問が飛び交い、親御さんも負けまいと童心に戻って熱中しています。

出来上がれば飛ばしてみたいくなるのは子供心。自分の飛行機がどこまで飛ぶのか・・・最初は期待と不安の顔・顔・顔。でもスーと飛ばせば嬉しい笑顔が、そうでなければ羽根の形や飛ばす力や角度を教えてもらい再挑戦です。最後は真っすぐ速く飛ぶホチキス・ペグ作り、山折り・谷折りして要所をホチキスで止め、ゲージで羽根の角度を確かめ、バランスをとって完成。輪ゴムを使った飛行は子供達と大人の対抗戦、一斉に飛ばしたらホールの端から端まで30m近く飛ぶ子もいて歓声です。こうして紙飛行機工作の2時間は瞬く間に過ぎ、大満足の子供達の顔に環境レンジャー部員も笑みがこぼれました。



みなさん真剣な表情です(^\_^)/

願いを乗せて飛んで行け！  
ホチキス・ペグでの飛行大会

# 環境レンジャーのこれからの予定（詳しくは「広報あびこ」を見てね！）

参加費は、すべて無料です。

お申し込み、お問い合わせは、我孫子市手賀沼課（04-7185-1484（直通））まで

## 2019年5月12日(日)

### Enjoy手賀沼2019

生き物ぬり絵で今年も野鳥カードGETだよ！



時間：午前9時～午後3時

場所：手賀沼親水広場手賀沼課ブース

## 2019年5月25日(土)

### ネイチャーイン

～古利根沼周辺の自然観察～



時間：午後9時～12時

場所：湖北駅北口から古利根沼を訪ねる

## 2019年7月27日(土)

### ネイチャーイン

～谷津ミュージアムでのホタル鑑賞～



時間：午後7時～8時30分

場所：谷津ミュージアム

## 2019年7月31日(水)

### 環境学習 船上学習

～遊覧船に乗って手賀沼を観察しよう～



時間：午前9時30分～11時30分

場所：手賀沼公園小池ボート前

## 2019年8月8日&8月15日(木)

### 環境学習

～紙粘土で花びんを作ろう～



時間：午前9時30分～11時30分

場所：アビスタ工芸工作室

## まだまだあるよ！お楽しみに(^~)/

### 9月14日(土)&15日(日)

#### 市民のチカラまつり

～生物関連クイズに挑戦しよう



### 9月29日(日)

#### 環境学習

～手賀沼水辺探検魚を獲って観察しよう

### 11月23日(土)

#### ネイチャーイン

～谷津ミュージアム自然観察と谷津まつり参加



### 《編集後記》

三寒四温、少しづつ季節が変わり、あちこちで生き物たちの顔をみかけます。平成最後のたまっけですが、これからも「自然はまだある！」を合言葉に、ネイチャーインや環境学習を計画していますのでお楽しみに(^~)/『たまっけ』へのご意見、ご感想お待ちしております。

(環境レンジャー 継岡 伸彦)